

令和6年度 第4回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和6年8月26日（月） 11：00～11：25
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、波積副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長
 - ◆説明者：池内生涯学習部長、河内スポーツ振興課長、中島スポーツ推進担当長、河畑建設部長、黒見水とみどり課長、渡邊特命参事
-

◆審議事項

岸和田市屋内プール整備基本構想（案）について・・・・スポーツ振興課、水とみどり課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、内容の表現について一部修正のうえ承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈波積副市長〉構想案について、施設の維持費用やプールの使用状況等、しっかりとデータを積み重ねたうえで内容を精査できていると思う。その結果、学校水泳だけでなく市民の利便性も向上するものになっているし、貴重な市の財源の有効活用という観点も含まれている。構想としてはこれで良いと思うので、しっかりと実行をしてほしい。

〈岸副市長〉プロジェクトチームをいくつか立ち上げたが、その中の社会体育施設の再編グループを構成する課が一丸となって基本構想を作った。引き続き、水とみどり課とスポーツ振興課には頑張ってもらいたいと思う。

〈教育長〉1点目、市長部局の協力を受けながら、学校水泳の民間委託を進めてきた。天候に左右されずに授業が行えること、専門の指導者から指導が受けられることを評価していただいている。そういった点から、教育委員会としては学校水泳の屋内プールでの実施及び民間委託を進めていくという判断をした。

2点目、近年非常に厳しい暑さとなっており、屋外でのレジャーは市民から選択されない時代になっている。その点からも、屋外の市民プールで暑い中泳いでいただくより、しっかりと屋内プールを整備し、年間を通じて体力の向上とスポーツの振興を図っていくことが必要ではないかと思う。

3点目、施設の老朽化と利用者の減少が挙げられる。財政的な観点からも、老朽化した既存の施設の修繕には億単位の費用がかかることから、新たに屋内プールを整備することが市民の大切な税金を効率的に運用するという意味でも望ましい方針だと思う。

これから基本計画を作成するなかで、必要な規模、機能の詳細や財源等を関係課としっかり議論しながら教育委員会としても進めていく。

〈市長〉今年は暑さ指数が屋外で運動できる基準を上回り、また、これまでも雨などにより子どもたちが泳げる機会が減ってしまうことがあった。岸和田の子どもたちがみんな泳

げるように通年のカリキュラムを組むのが「みんな泳げるプロジェクト」であり、このプロジェクトを進めるためにも公営の屋内プールの整備に舵を切った。民間活力を活用しながら完成に向けて進めていきたいと思っている。

屋内プールの供用開始に伴い屋外プールを廃止することなので、議会にはわかりやすい説明が必要。

一番大事なのは利用する市民の満足度を高めることなので、その点を忘れずに進めてほしい。子どもたちが泳げるように、また快適に授業を受けられるように、徹底的に考え取り組んでほしい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認する。

令和6年8月 14 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長、建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市屋内プール整備基本構想(案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	①令和6年2月に策定した「屋内プール整備方針」を踏まえた「岸和田市屋内プール基本構想」の策定 ②屋内プールの整備に関する基本方針やコンセプトの決定及び事業方式の選定
説明者	河内スポーツ振興課長
	中島スポーツ推進担当長
	黒見水とみどり課長
	渡邊特命参事
付議事項の概要	別紙のとおり

付議会議	令和6年度 第4回会議
付議事項	岸和田市屋内プール整備基本構想(案)について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	熱中症の危険をはじめ気象条件に関わらず、年間をととして誰もが安全・安心に利用できる屋内プールを整備することにより、市民の心身の向上や健康増進、遊戯やレクリエーション、学校水泳授業の安定的な実施等に寄与できる。

★総合計画上の位置付け

1050202	基本目標	岸和田の次世代を育むまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている
	個別目標の方向性	② スポーツへの親しみ向上や参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める
	行政の役割	安全にスポーツができる環境(場)を整える

★現状と課題

【現状】
・市民プール(9施設)、学校プール(3施設)及び中央公園プールは老朽化が著しく、改修が困難なプールは安全確保の観点から休止せざるを得ない状況である。
・市民の一般利用や団体利用は、酷暑の影響等により利用者数が下降の一途である。
・市民プールにおける学校水泳授業は、天候に左右されやすく、安定した実施が困難な状況である。
【課題】
・年間をととして市民が安全・安心に水に親しむ機会を確保し、市民の健康増進やレクリエーションの機会の提供
・学校水泳授業における市民プール利用校と民間委託校の格差是正、みんな泳げるプロジェクトの推進
・利用者数に応じた適切な施設数への転換

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
岸和田市屋内プール整備基本計画策定【令和6～7年度】 設計・工事関係業務の発注(準備含む)【令和7年度】				18,600	11,400				
岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)策定				0					
設計・工事									
供用									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源			18,600	11,400				
	その他								
事業費				計	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
				11,400	11,400	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
有	無	1	1	1	1	0

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
①	みんなでめざそう値(スポーツ・運動を定期的【週1回以上】にしている市民の割合)	%	44.7	45.2			60.9	65		
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。